

高山・亜高山帯等、脆弱な自然環境下における国立公園の利用拠点の事例

公園名	地区名	アクセス(車道・索道)	終点及び周辺の植生	終点の標高	終点及び周辺の保護規制計画	開通・運行期間	利用者数	利用施設及び利用状況の概要
大雪山	姿見の池周辺	旭岳ロープウェイ	高山帯 コケモモ - ハイマツ群集 砂礫地	1600m	終点部： 第1種特別地域  周辺部： 特別保護地区	通年	年間約16万人 (平成13年度)	「利用施設」 旭岳ロープウェイが勇駒別集団施設地区と旭岳中腹を結び、終点の姿見駅近傍(旭平)には姿見の池周辺の自然探勝のため、歩道や点在する火山湖を望む展望台等が整備され、旭岳方面への登山道に通じている。 「利用状況」 旭平に整備されている歩道等を、高山植物、紅葉の観賞、山岳風景の探勝目的に観光客が利用している。 大雪山系の一角をなす旭岳から黒岳方面への縦走登山等の基地として利用されている。
十和田八幡平	田茂菴岳周辺	八甲田ロープウェイ	亜高山帯 オオシラビン群集 湿原	1,300m	終点部： 第3種特別地域  周辺部： 特別保護地区 第1種特別地域	通年	年間40万人	「利用施設」 十和田北線車道沿いの山麓駅と田茂菴岳山頂直下を結び、終点の山頂公園駅には園地が整備され、周辺には田茂菴自然研究路として、歩道や展望台が整備され、八甲田大岳方面への登山道に通じている。 「利用状況」 夏には高山植物の観賞、秋には紅葉の山岳風景を探勝する観光客で賑わっている。 八甲田大岳方面への縦走登山の基地として利用されている。
	八幡沼周辺	八幡平アスピーテライン 八幡平樹海ライン	亜高山帯 オオシラビン群集	1,500m	終点部及び周辺部： 特別保護地区	冬季閉鎖	年間約35万人(平成13年度)	「利用施設」 終点部の見返り峠付近には、駐車場、休憩所、売店、トイレ、展望所などの施設が整理され、山頂直下の見返峠駐車場からは、一周約2時間程度の探勝歩道が整備され、八幡平方面への登山道に通じている。 「利用状況」 春から夏は湿原植物の観賞、秋は紅葉狩りを目的とした観光客が多く訪れている。 八幡平縦走等の登山基地として利用されている。
磐梯朝日	弥陀ヶ原周辺	月山道路	亜高山帯 チシマザサ群落 高層湿原	1,400m	終点部： 第3種特別地域  周辺部： 特別保護地区	冬季閉鎖	年間約15万人	「利用施設」 終点部の月山八合目には園地、レストハウス、駐車場等が整備され、月山への登山道に通じている。湿原部には自然探勝、植生荒廃防止のため、木道が整備されている。 「利用状況」 湿原の散策等を目的に観光客が多く訪れている。 山岳信仰の山であることから、一般登山の他、信仰登山の基地として利用されている。
	浄土平周辺	磐梯吾妻スカイライン	亜高山帯 火山荒原	1,600m	終点部： 第2種特別地域  周辺部： 特別保護地区 第1種特別地域	冬季閉鎖	年間約13万人	「利用施設」 終点部には駐車場、ビジターセンター等が整備されているほか、吾妻小富士、桶沼、鎌沼を周遊する歩道が整備され、吾妻連峰への登山道に通じている。 「利用状況」 山岳風景や自然の探勝を目的とした観光客が多く訪れている。 吾妻連峰への登山基地として利用されている。

磐梯朝日	天元台周辺	天元台ロープウェイ・リフト	亜高山帯 ダケカンバ群落	1,300m	終点部： 第3種特別地域  周辺部： 特別保護地区 第1種特別地域	冬季は ロープウ エイは休 止、リフ トはス キー利用	年間約10万 人	「利用施設」 ロープウエーは白布温泉湯元と天元台高原を結び、天元台高原にあるスキー場のリフトが吾妻連峰の稜線付近の北望台まで整備され、西吾妻山から磐梯高原への縦走登山路の始点となる「人形石下」へと通じている。 「利用状況」 山岳展望などの観光客が多い。 索道終点部から、さらにリフトを利用し、西吾妻山方面、東吾妻山方面への登山に利用されている。
	雄国沼・金沢峠	林道 (雄国・中道地・大窪)	ブナクラス域： 自然草原	1,150m	終点部： 普通地域  周辺部： 第1種特別地域	冬季閉鎖	年間約8万人	「利用施設」 金沢峠まで林道が整備されており、駐車場からは湿原を回遊する木道が整備され、猫魔ヶ岳などへの登山道に通じている。 「利用状況」 峠からの雄国沼の展望や湿原植物の観賞などを目的として観光客が多く訪れている。 猫魔ヶ岳などへの登山経路として利用されている。
日光	尾瀬・鳩待峠	車道	亜高山帯： ササ-ダケカンバ群落	1,591m	終点部及び周辺部： 特別保護地区	冬季閉鎖、シーズン中はマイカー規制あり	鳩待峠： 年間約19万人(平成14年度) 尾瀬全体： 年間約41万人(平成14年度)	「利用施設」 終点部の鳩待峠は、尾瀬入山の最もポピュラーな入り口であり、駐車場、山荘、休憩所が整備され、また至仏山への登山道が通じている。 「利用状況」 尾瀬ヶ原や尾瀬沼の自然探勝を目的とした利用者が多く訪れている。 燧ヶ岳や至仏山などへの登山経路として利用されている。
	那須岳周辺	那須ロープウェイ	亜高山帯 ハイマツ群落	1,580m	終点部： 第2種特別地域  周辺部： 第1種特別地域	冬季閉鎖	年間約46万人(平成13年度)	「利用施設」 那須ロープウエーが、那須温泉郷を経由した車道の終点部と那須火山帯の主峰、茶臼岳(那須岳)9合目を結び、茶臼岳や朝日岳への登山道へ通じている。 「利用状況」 活火山である茶臼岳の噴火口付近の散策に多くの観光客が訪れている。 那須連峰への登山に多く利用されている。
中部山岳	立山室堂周辺	立山黒部アルペンルート	高山帯 コケモモ-ハイマツ群集	2,450m	終点部： 第2種特別地域  周辺部： 特別保護地区 第1種特別地域	冬季閉鎖	年間約100万人	「利用施設」 北アルプスを横断する観光ルートとして、最高地点の立山室堂周辺には、ターミナルの他、ビジターセンター、宿泊施設や園路が整備されており、立山への登山道や天狗平方面への探勝歩道に通じている。 「利用状況」 黒部ダム観光や紅葉の観賞、山岳景観の探勝を目的とした利用者が多数訪れている。 立山・剣岳一帯の登山基地として利用されている。

	乗鞍岳周辺	乗鞍エコーライン（長野県） 乗鞍スカイライン（岐阜県）	高山帯 雪田草原	2,700m	終点部： 第2種特別地域  周辺部： 特別保護地区	冬季閉鎖	シーズン中 約21万台	「利用施設」 最高地点の畳平には、駐車場やレストハウス、トイレなどが整備され、乗鞍岳への登山道や周辺のお花畑など探勝歩道に通じている。 「利用状況」 夏期には高山植物などの探勝を目的とした観光客が多く訪れ、乗鞍岳山頂まで1時間半程度であるため登頂を目指す観光客も多い。 乗鞍岳への登山の他、平湯や野麦峠から登山利用も行われている。
中部山岳	白馬梅池自然園周辺	梅池ロープウェイ・ゴンドラリフト	亜高山帯 シラビソ-オオシラビソ群集 高層湿原	1,829m	終点部： 第2種特別地域  周辺部： 第1種特別地域	冬季はロープウェイは休止、ゴンドラリフトはスキー利用	ロープウェイ利用： 年間約14万人（平成13年度）	「利用施設」 梅池スキー場のゴンドラリフトを乗り継ぎ、約100haの広さの園内に約5.5kmの遊歩道、ビジターセンター等がある「梅池自然園」に到達する専用ロープウェイが整備され、白馬大池や白馬岳への登山道に通じている。 「利用状況」 梅池自然園を利用する観光客が多い。 白馬岳など北アルプス北部の縦走登山や、白馬大池などの探勝利用も見られる。
	西穂高岳周辺	新穂高ロープウェイ（第2区線）	亜高山帯 シラビソ-トウヒ群団	2,156m	終点部： 第3種特別地域  周辺部： 特別保護地区 第1種特別地域	通年	年間約46万人	「利用施設」 ロープウェイ終点の千石平は、穂高連峰の西穂高岳中腹に位置し、園地が整備され、西穂高岳や上高地への登山道に通じている。 「利用状況」 穂高連峰や笠ヶ岳の山岳景観の展望を目的とした観光客に多く利用されている。 穂高連峰の登山や、上高地への入山に利用されている。いわゆる「西穂の独標」までの往復も含め、穂高方面へ向かう登山者の割合は、ロープウェイ利用者の約15%程度と想定。
上信越高原	白根山周辺	万座ハイウェイ、志賀草津高原ルート	亜高山帯 シラビソ-オオシラビソ群集、コメツガ群落	2,172m (渋峠)	特別地域（地区区分未定）	冬季閉鎖	年間約200万人（弓池）	「利用施設」 横手山頂(2,304m)や万座温泉にはスキーリフトが整備されており、渋峠～横手山頂は夏山リフトとしても営業。コマクサ群落などが見られる弓池地区には、園地や探勝歩道が整備されている。 「利用状況」 ロープウェイ等を利用し、白根山湯釜等の湖沼見物などに観光客が多数訪れている。 白根山をはじめ、草津・志賀高原一帯の登山、ハイキングに利用される。
	天神平周辺	谷川岳ロープウェイ	亜高山帯： ササ群落 湿原	1,320m	特別地域（地区区分未定）	通年	年間約2万9千万人	「利用施設」 ロープウェイ終点は、冬季はスキー場として利用されている、園地やレストハウス等が整備され、谷川岳方面への登山道が通じている。 「利用状況」 天神峠へ通じるリフトを乗り継ぎ、山岳景観の展望を楽しむ観光客が多く訪れている。 夏期を中心に谷川岳への登山口として利用されている。

富士箱根伊豆	富士山五合目 (富士宮口、 吉田口)周辺	富士山スカイライン(静岡 県) 富士スバルライン(山梨 県)	亜高山帯 シラビソ-オオシラビ ソ群集、カラマツ群落 火山荒原	2,380m (富士 宮口新 五合 目) 2,305m (吉田 口五合 目)	終点部及び周辺 部: 特別保護地区	静岡県側 は冬季閉 鎖、山梨 側は可能 な範囲で 通年	年間約400万 人(富士山 五合目)	「利用施設」 いずれの終点も富士山五合目に位置し、公衆トイレ、レストハウス、駐車場、園地などが整備され、富士山頂への登山道が通じている。 「利用状況」 観光バス、マイカー等を利用し、五合目で折り返す一般観光客が多数を占めている。 夏季(7月~8月)は富士山登山者の主要な登山口として賑わい、五合目以上~山頂を目指す登山者数は約25万人と言われ、その8割以上が両登山口を利用している。
吉野熊野	大台ヶ原周辺	大台ヶ原ドライブウェイ	ブナクラス域: トウヒ群落	1,570m	終点部: 第2種特別地域  周辺部: 特別保護地区	冬季閉鎖	年間約25~ 30万人	「利用施設」 終点部の大台ヶ原に、駐車場、ビジターセンター、宿泊施設、休憩所が整備され、東大台の探勝歩道や大杉谷などへの登山道が通じている。 「利用状況」 ドライブや紅葉狩りを目的とした観光客が多く、大半はマイカー利用の日帰り客。 大台ヶ原の自然探勝を目的としたハイキング程度の利用は多いが、以奥への登山利用は少ない。